

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3

貫山寫



後海を舟のりてんのかたのふたつ
 頭ももまきこたのもう後日記
 文月やは夜をまふふかしの
 せはるふもつとぬさうの
 中のおくやと花のぬきしや

宇尺
 静菴
 米弄
 桂香
 雜尾

七夕や色もあけの筆も
 起の襟小さきとちの
 年毎にまふふかしの
 と船客のいそがしの中や
 玄秋や思ふは秋の月さ
 柳の枝やあけのけり
 此のし物の上成りや
 稲まのよあやうさ

西肥
 如柳
 木松
 鬼月
 夏月
 夏水
 夏今
 芦今

舟のりてんのかたのふたつ
 頭ももまきこたのもう後日記
 文月やは夜をまふふかしの
 せはるふもつとぬさうの
 中のおくやと花のぬきしや

推考
 寫家
 寫南

